

ふに十銭近き高を奮發する社會が一釐をだに吝むとは豈に夫れ不思議千萬と云はざるべけんや。

まかしなからこゝが不思議さうで決して不思議ならぬ一事あり。世に文學者として立たんとすれば必ずこゝの具合を飲込むべし。第一に社會の御機嫌を伺ふて飽くまでも御意に逆ひぬ様にすれば請合つて充分に歓迎して呉れる。云はゞ豚の子に黄金の玉より芋の尻尾の方が尊といと同じ道理にて隅外氏の深宏なる學識も未だ愛に及ばざりし也。

賢き善估某云く、最も苦辛せし著作は最も賣れぬものなりと、最も高尚なるものは最も實行惡しむ。文學者は必ず經營慘憺の刻苦を爲すべからず。極めて卑俚淺近なる題目を選びお茶漬さら〜主義にて精々お手輕に唯筆尖を器用に働かすれば社會に充分満足を得るを得べし。

斯くて首尾よく社會に満足を得るを得ば一足飛に屈指の大文學者の班に入るを得べし。云はゞ「人氣」の試験を受けて及第するや落第するやといふ階にし「人氣」は文學社會に於ける唯一の「ゴッド」なり。

文學者となれ！ 文學者となれ！ 猫も杓子も文學者となれ！ 人氣如來に祈禱を掛けて一心に大家段に上る工風を運らすべし。悠ての如露如泥なるニヤケ男一ト度粉骨踏身すれば一躍して遊治郎の境界を脱離し、海々世間に歡待せらるべし。

諸君！ あア、くたびれた！ まだ〜いふ事は澤山あるが是で一ト休みすべし。以上の外に婦人に接する禮式、家庭に於ける心得、或は宗教道徳其他の社會人事に關する文學者の見識を説法したいが先づ今日はお預けとすべし。あア、くたびれた！

以上 風帶子 筆記



書作

明治二十七年四月十一日印刷
同 年四月十五日發行

板權所

有之章

著作兼發行者

宮 澤 俊 三

東京市牛込區北町二十二番地

印刷者

三 島 宇 一 郎

東京市神田區表神保町二番地

印刷所

弘 文 堂

東京市神田區表神保町二番地

發賣所

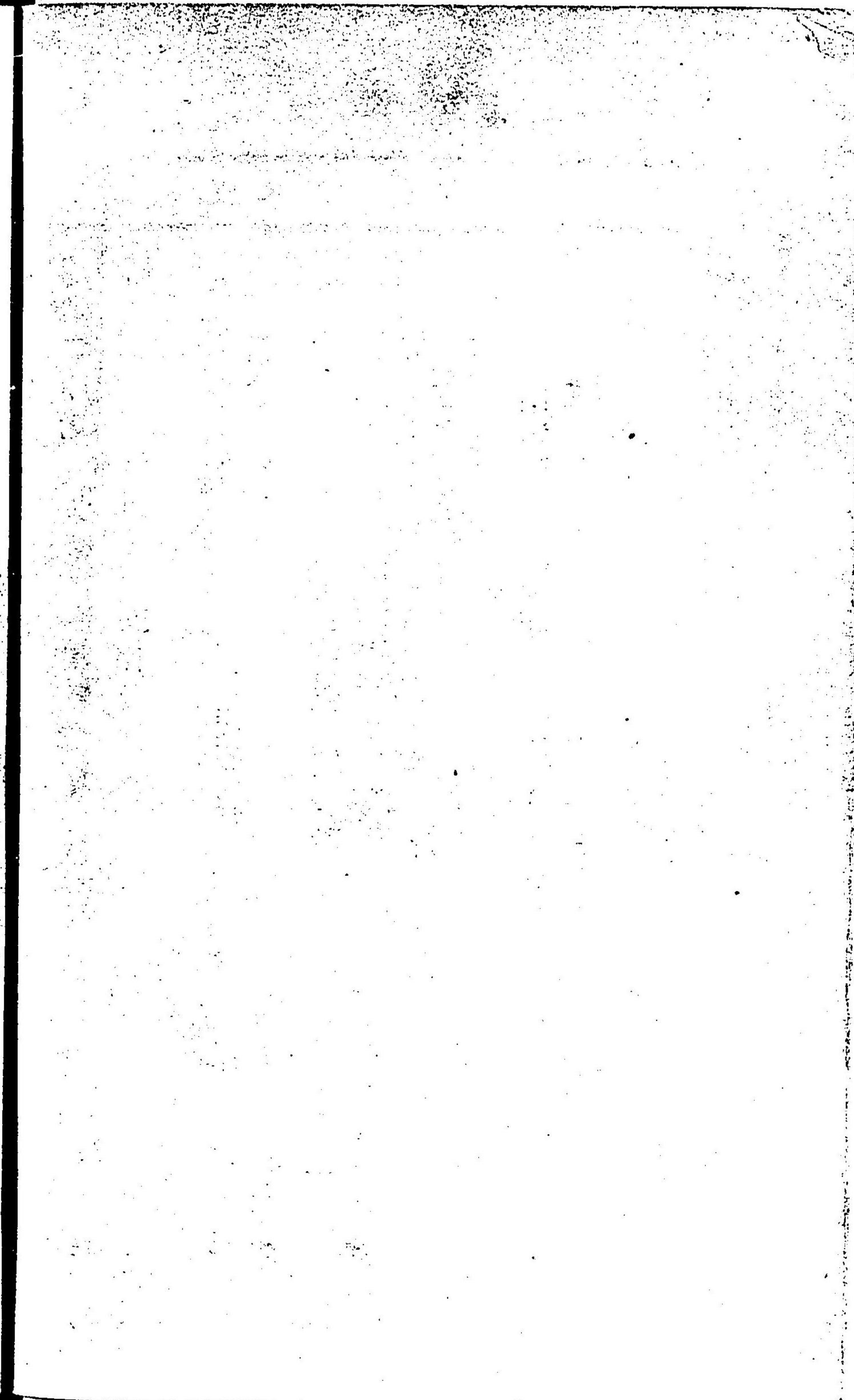
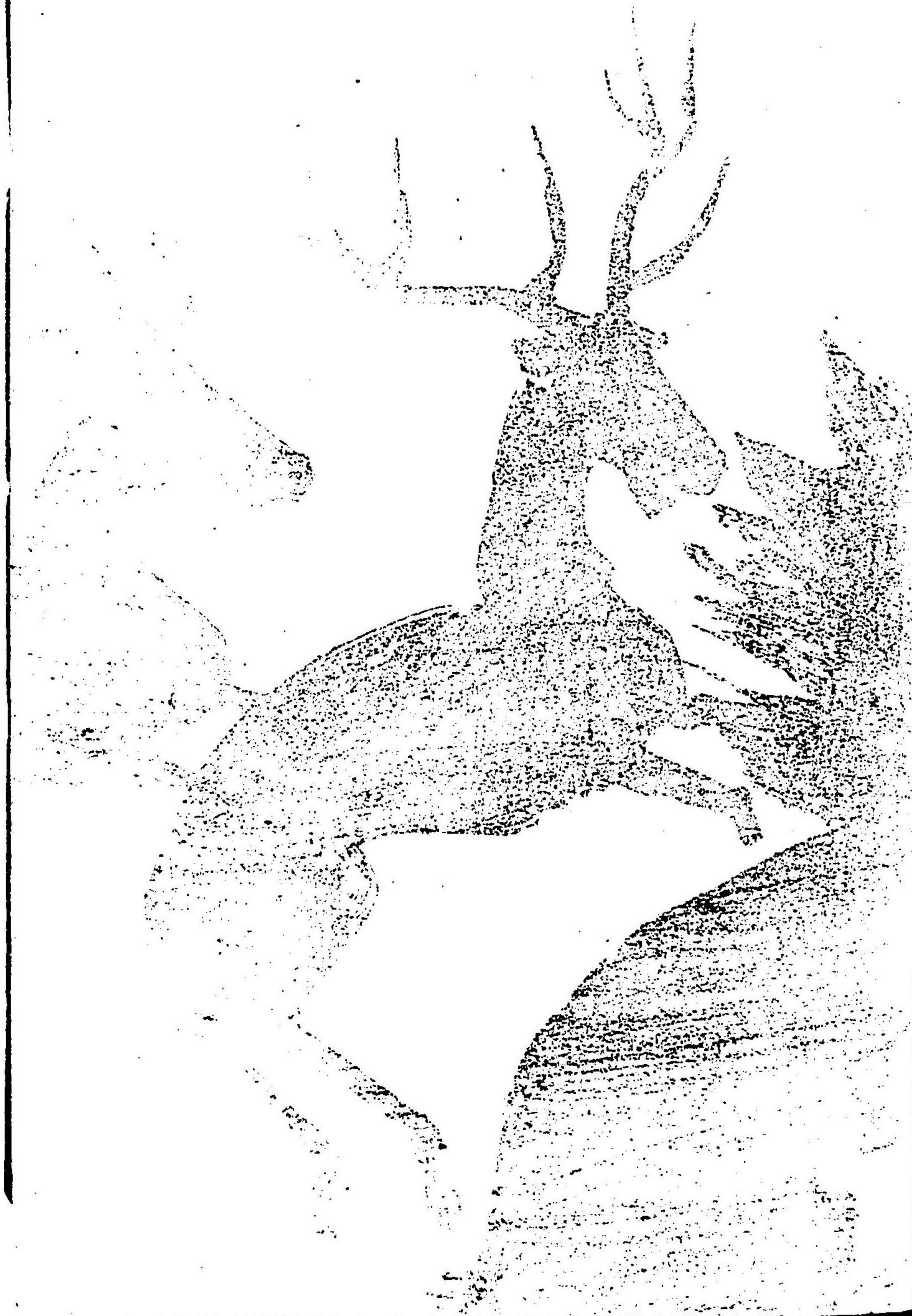
東京市牛込區
矢來町三番地

右 文 社

同市神田區表
神保町二番地

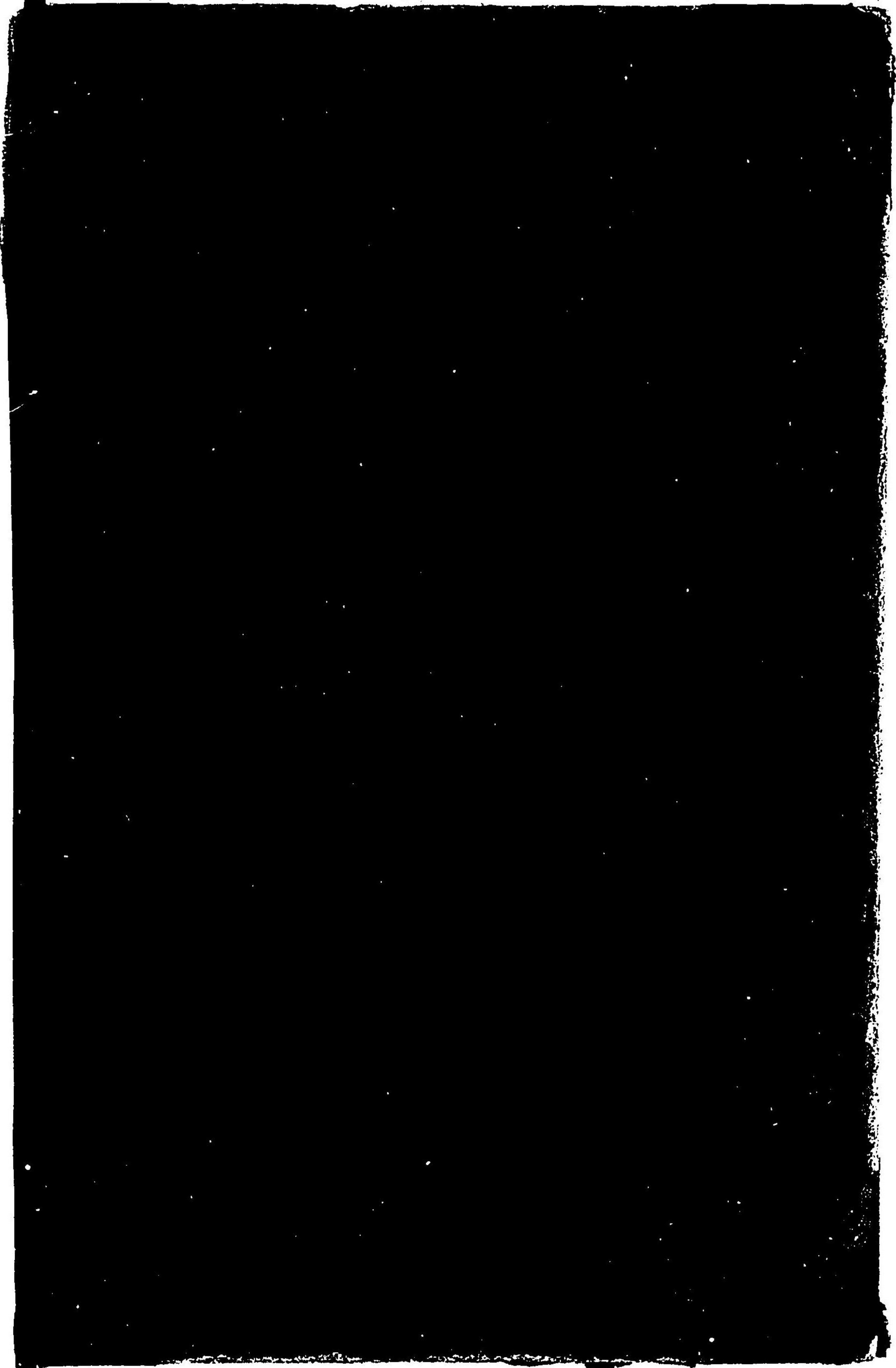
同 支 店

44
218





44
218



44
218

084814-000-0

44-218

文学者となる法

宮沢 俊三/著

M27

DBA-0159



